

# 救急医療情報キット部会の 検討状況について

# スケジュール（暫定）

2023年						
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
第1回部会		第2回部会		第3回部会		第4回部会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔合わせ</li> <li>・現状共有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用実態の確認</li> <li>・課題抽出</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用目的の確認</li> <li>・シート情報に記載する項目について検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰がどのように使用するのか</li> <li>・シート情報に記載する項目について検討</li> <li>・配布対象者</li> </ul>
				2024年		
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第5回部会		第6回部会	第7回部会		最終回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キットの形態（電子・紙）の検討</li> <li>・シート情報更新方法の検討</li> <li>・配布方法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キットの形態（電子・紙）の検討</li> <li>・シート情報更新方法の検討</li> <li>・配布方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知方法の検討</li> <li>●改訂版キットの作成方針について確認</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●改訂版キットの作成方針について決定</li> </ul>

# ●第3回部会

開催日時:6月21日(水)18:00~(オンライン開催)

主な議題:・使用目的の確認

・シート情報に記載する項目について検討

# ●第3回部会

## ➤ 救急医療情報キットの目的について確認

現行の目的は、『高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に「かかりつけ医」「緊急連絡先」「持病」などの情報を専用の容器に入れ自宅に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。』となっている。

## ➤ キットのシート情報に記載する項目について、各委員から意見出し(抜粋)

- ◆ 薬の情報もあると良いのでは？薬の情報そのものでは大変になるので、かかりつけ医に加えて、かかりつけ薬局の情報など、どうか。
- ◆ 誰が書いて、それを誰がどのように使うか、が大事。救急隊の人が使用して、命をつなぐということを目的とするのか、それを受けた医師・医療機関を目的とするのか、対象者を誰にするかで、目的も変わってくる。
- ◆ 項目が多すぎると、書くことに対して抵抗が生じる可能性がある。書く人にとって書きやすい項目量で、普及を広げ活用してもらうことが大切。
- ◆ 医療側としては、情報はあればあるほど助かるが、資料を見る限りでは、救急隊の利用を目的とし、病院選定に使われるのかなと思う。
- ◆ 救急としては、この用紙の内容であれば、充分リカバリーできる。ただ、このキットを使うときは、傷病者の意識が低く会話ができないときなどになると想定される。そのような場面で医療機関選定に重要になってくるのは、かかりつけの医療機関情報、キーパーソンの緊急連絡先である。
- ◆ 受け入れる病院側としてはアレルギーの情報とDNARの情報は欲しい。

※下線部の項目の追加について、次回部会までに各委員で検討してくることとなった。

# ●第4回部会

開催日時:8月23日(水)18:00~(オンライン開催)

- 主な議題:
- ・誰がどのように使用するのか
  - ・シート情報に記載する項目について検討
  - ・配布対象者

# ●第4回部会

- 救急医療情報キットの目的について確認  
救急隊の人がスムーズに搬送をすることを目的とする。

- 消防署救急隊から各項目についての意見

※前回の部会にて、「かかりつけ薬局」「アレルギー情報」「DNAR」の3点を追加するかどうかという議論があった。

◆ 現行のシートでほしい情報はカバーできていると思う。

## <かかりつけ薬局>

◆ お薬手帳があれば、お薬手帳を病院へ持っていく。

## <アレルギー情報>

◆ 食べ物や薬のアレルギー情報をとるので、情報が載っていれば助かる。

## <DNAR>

◆ DNARの記載があったとしても、記入時と本人の意向が変わっている可能性があるため、必ず関係者(緊急連絡先の方)に確認をすることとなっている。

◆ 記入した本人がDNARをきちんと理解していない可能性があるため、DNARの記載があると救急隊としては、判断が紛らわしくなる。

# ●第4回部会

## ➤ キットのシート情報に記載する項目について、各委員から意見出し(抜粋)

- ◆ 救急隊にとって情報が多くなりすぎると分かりづらくなるのではないか。
- ◆ DNARを項目として入れると、書く人が紛らわしくなるのではないか。
- ◆ DNARが書いてあると救急隊が翻弄され、搬送に時間がかかってしまうのではないか。

## ➤ 配布対象者について、各委員から意見出し(抜粋)

現行の対象者は、「75歳以上の単身者、その他医師が必要と判断した方」

- ◆ 65歳以上とはいえ、前期高齢者は元気な方が多いが、65歳ごろから記入する習慣づけができるようにした方がいいのではないか。
- ◆ 希望者に配布するのはいいかもしれないが、それよりも、老老介護の人を優先した方がいいのではないか。
- ◆ 作成できる個数が決まっている。優先度をつけて必要としている方に配るという観点が必要。今までと同じ75歳以上で独居の方が優先的になるのかなと思う。
- ◆ 筒の形態の救急医療情報キットは、75歳以上に配布するので良いと思うが、記録用紙だけは65歳以上の方にも配布するのはどうか。
- ◆ 65歳以上の独居高齢者で、優先的には75歳以上に配布するのが良いか。

# ●まとめ

## ➤ 救急医療情報キットの目的について

救急隊がスムーズに搬送することを目的とする。

## ➤ シートに記載する項目について

現行のシート情報に、「アレルギー情報」を追加する。

## ➤ 配布対象者について

65歳以上の独居高齢者。

そのうち、75歳以上の独居高齢者を優先して配布する。

※65歳以上の独居高齢者数は約35,000人(2023/4/1時点)

※75歳以上の独居高齢者数は約25,000人(2023/4/1時点)



# ●今後の検討項目

- 救急医療情報キットの形態について
- シート情報の更新方法について
- 配布方法について
- 周知方法について